

か み ま ち

㊦ 社協だより

第72号

2017年12月

第15回福祉作文・ポスターコンクール
福祉ポスター（小学生の部）・最優秀賞



👑 宮崎小学校5年 佐竹桃奈さんの作品

（関連記事は3ページに掲載）

編集と発行

社会福祉法人 加美町社会福祉協議会

加美郡加美町字町裏320 電話 (0229)63-2547 URL <http://www.shakyo.or.jp/hp/288/>

『地域共生社会』の実現を目指して!!

第3回加美町社会福祉大会

11月18日(土)、中新田バッハホールを会場に、『第3回加美町社会福祉大会』を開催しました。

式典に先立ち、「荒川知子とファミリーアンサンブル」の皆さんをお招きしての記念コンサートが行われました。「アメージング・グレース」や「ふるさと」など全8曲を披露いただき、会場は温かい雰囲気になりました。

その後の記念式典では、地域社会の福祉増進に功績のあった119名、3社、15団体の方々に表彰状や感謝状を贈呈しました。また、第15回福祉作文・ポスターコンクール入賞者の発表もあり、こちらは37名の皆さんに賞状を授与しました。

みんなで支えあう地域社会の実現を宣言したのち、福祉作文コンクールで最優秀賞に輝いた中学生の作品の朗読が行われ、家族の介護を通じ、自らに出来ることやこれからの他人への気づかいなどに触れた内容に、盛大な拍手が送られました。

5年に1度開催の本大会ですが、多くの皆様のご協力により、盛会裏に終了することができました。ご来場並びにご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。



▲荒川ファミリーの皆さんによるコンサート。リコーダーやフルートが奏でる優しい音色にうっとり♪



▲森田和男実行委員長による大会宣言。「地域共生社会」の実現へ向けて取り組むことを宣言しました。



▲福祉作文コンクール中学生の部・最優秀賞の佐々木温起くん（中新田中学校2年）による朗読



▲最優秀賞作品の前でお母さんと一緒に、はいポーズ！（幼児の部・田中楓香さん）

第15回福祉作文・ポスターコンクール入賞者

このコンクールは、加美町内の小中学校の児童生徒及びこども園・幼稚園・保育所の年長児を対象に、社会福祉に対する関心を深め、福祉の心（おもいやり・たすけあい・ささえあい）の精神と社会連帯の意識の高揚を目的に実施しています。

今年度は作文54点（小学生の部33点、中学生の部21点）、ポスター 157点（小学生の部70点、中学生の部21点、幼児の部66点）の応募があり、審査会（審査員長：早坂教育長外、委員9名）の厳正なる審査を経て、下記のとおり入選作品が選出されました。なお、福祉作文と福祉ポスター小学生・幼児の部の各最優秀賞作品は、次ページ以降に掲載しておりますので、ぜひご覧下さい。

（敬称略）

福祉作文（小学生の部） ★最優秀賞 早坂 凌雅（賀美石小学校6年）

★優秀賞 石川 杏奈（中新田小3年）

★佳作 阿部理佳子（中新田小4年）

★佳作 中島 万穂（中新田小4年）

★佳作 早坂 憂真（賀美石小5年）

★優秀賞 檜野 春菜（旭小4年）

★佳作 安孫子七望（中新田小6年）

★佳作 渡邊 紗也（東小野田小4年）

★佳作 佐藤 凜咲（中新田小6年）

（中学生の部） ★最優秀賞 佐々木温起（中新田中学校2年）

★優秀賞 太田優里亜（宮崎中1年）

★佳作 笠原 梨澁（小野田中3年）

★優秀賞 渡邊 夏希（宮崎中1年）

★佳作 鈴木 美結（宮崎中2年）

福祉ポスター（小学生の部） ★最優秀賞 佐竹 桃奈（宮崎小学校5年）

★優秀賞 高橋 大空（中新田小1年）

★佳作 武沢 遥海（賀美石小4年）

★佳作 澁谷 静（中新田小6年）

★優秀賞 菊地 聖翔（中新田小5年）

★佳作 澁谷 桃佳（中新田小5年）

★佳作 早坂 美空（中新田小6年）

（中学生の部） ★最優秀賞 小杉 莉子（中新田中学校2年）

★優秀賞 尾形杏莉沙（中新田中1年）

★佳作 千坂 有良（中新田中1年）

★佳作 今野 湧人（中新田中2年）

★佳作 齋藤 舞桜（中新田中2年）

★優秀賞 細谷 優海（中新田中1年）

★佳作 長谷川ひより（中新田中1年）

★佳作 工藤 美佑（中新田中2年）

（幼児の部） ★最優秀賞 田中 楓香（中新田幼稚園なかよしこども園）

★優秀賞 清宮 基親（中新田幼稚園なかよしこども園）

★佳作 新田 倫久（中新田幼稚園なかよしこども園）

★佳作 今野 悠樹（中新田保育所）

★佳作 小野寺珠音（中新田保育所）

★優秀賞 渋谷明日香（中新田幼稚園なかよしこども園）

★佳作 小山 孔輔（中新田保育所）

★佳作 松橋 那茅（中新田保育所）

福祉作文（小学生の部）

最優秀賞

家族の絆から福祉を考える

賀美石小学校六年 早坂 凌雅

ぼくのおばあちゃんは、今から八年前に、脳内出血のため、右手足が不自由になりました。そのため物をとるのがむずかしくなりました。それは、幼稚園の年中の時からです。それまでは、牛の仕事を手伝い休むひまもなく仕事をしていました。おばあちゃんがたおれ介護が必要になりました。いちゃん中心にみんなで介護をしていました。そんなおじいちゃんも今年で七十八才になります。

おじいちゃんは、おばあちゃんのお世話以外にも牛の仕事をしています。おじいちゃんは、その仕事をしながら、おばあちゃんのお世話をしていたのでおじいちゃんがかれて病気になるたりしない心配でした。

おじいちゃんの仕事がいそがしいときは、おばあちゃんのお風呂は、データービスの人たちにおねがいしたりしています。

おじいちゃんは、介護を優先して毎日いそがしく動いているのですがぼくは、なかなかおばあ

ちゃんを楽しませることができません。いろいろ動いているそんなおじいちゃんの姿を見てぼくは、介護をするということは、大変な事だとあらためて思いました。忙しいおじいちゃんとぼくたち家族を助けてくれたのは、介護施設の人達でした。

施設の人達は、ぼくのおばあちゃんをお風呂に入れてくれたりトイレにつれていってくれたりと生活の手助けをしてくれます。他に、おり紙や、ぬり絵をしたり、歌と一緒に歌ったりと楽しいことをいっぱいしてくれます。引きこもりがちのおばあちゃんをホールにつれ出してお年よりの友達と一緒にゲームをして笑ってる姿を見てるとぼくも笑がおになります。

ぼくは家でおばあちゃん一人だけでもお世話をするのが大変だと思っていたのに施設の人達をどうやって手助けしていいかわからなかったので施設の方々の働く姿を見て何が自分にできるかを考えました。ぼくにできることは、ほんの少しかもしれないですが、おばあちゃんにとっては、とってもうれしいことだと思うのでやっていきたいと思っています。

これからは、こまっている人を見たらすぐに声をかけ、できることであればなんでも積極的にやっていきたいと思いました。

福祉ポスター（中学校の部）

最優秀賞



中新田中学校2年 小杉 莉子

「大好きな人」
大切

福祉ポスター（幼児の部）

最優秀賞



中新田幼稚園なかよしこども園 田中 楓香

「ながいきしてね」

（入選作品については、ホームページでもご覧いただけます）

祖母に教えられた

介護のこと

中新田中学校二年 佐々木温起

食事をする。お風呂に入る。着がえをする。歯をみがく。顔をあらう。歩く。走る。買い物に行く。勉強する。トイレに行く。髪を洗う。そうじをする。十四才の僕が、なんの努力もしないで、普通にやっているあたりまえのことのいくつかです。こんなあたりまえのことが、年を取っていくと、身体の上のいろいろな所に故障が出てきて、腕が上がらなくなったり、ひざが痛くて歩くのがゆっくりになったり、目がかすんできたり、考えたり話したりすることが面倒になったりして、少しずつ行動することが遅くなっていきます。そこで助けが必要になります。これが介護ということです。

去年の夏に亡くなった祖母は、最後の一年ほどは入院していましたが、それまでは家でずっと母が介護をしていました。食事の時、周りを汚したり、こぼしたり、お風呂に入れるのも、あがるのも大変で、またトイレが間に合わなくて汚したり

と、介護している母は、本当に大変で、そんな祖母を僕は、「早くいなくなればいいの。」と思っていた。でも、大変そうな母の姿を見ていると、何かしなきゃなあと思い、お茶をついでやりたり顔を拭いたり、布団をしいたり、かけてやりたりなど、きれいな仕事しかできなかったけれども、僕にとっては、祖母に対する精一杯の介護でした。

介護や福祉のことを聞いても、中学生の私たちにとっては、ずっとずっと先のことだと思っていませんか。祖父母と離れて生活している人は、余計に遠い先のことだと感じていると思います。

でも、中学生の私たちだって、言い方は介護ではないけれども、まったく同じことを、生まれてすぐ赤ちゃんのころ、親にしてもらっていたのです。

人生のはじまりと終わりは、誰だって必ず人の手を借りて、助けてもらっているのです。

生きている人間はすべて、助けられたからこそに今、生きているのだと思います。福祉や介護は、ぜんぜん遠い先のことではなく、特別なことでもなく、普通に毎日の生活の中にある、とても身近なことです。

僕がこんなにも、介護について強く考えるようになったのも、祖母がいたからです。介護を真近

かに接すると、優しく対応することが、とても難しいということを痛感しました。それは、介護は二十四時間ずっと続いているからです。一時間とか二時間とか、時間が決まっているなら、とても手厚く優しさにあふれたことも出来ると思います。

祖母に一〇〇%の介護が出来なかった分、年をとって、歩くのがたいへんそうな人とかを見たら助けたいいつも思っているけど、思えばばかりで、なかなか声もかけられず、結果的にいつも何もしない人になってしまふ僕だけでも今度こそは、勇気をだして声をかけたいと思います。自分が小さいころ、なんでもしてもらったから、中学生としての今があることを絶対忘れてはいけなと思います。



艶やかな踊りや唄で魅了!!

第14回加美町老人クラブのつどい



▲高嶋信子さん（漆沢）の舞踊。今年も決まっています！



▲観客席は例年にも増して大盛況!!

11月1日、加美町老人クラブのつどいが、やくらい文化センター・大ホールを会場に開催されました。

毎年、各地区から芸達者な会員の皆さんが集まるこのつどいも今回で14回目を数え、年々参加者も増加。今年は17組56名の方々が出演し、カラオケや舞踊、健康ダンスなど、19の演目で日頃の練習の成果を披露しました。見事な踊りや唄の連続に、観客席からはお捻りやアンコールの声も飛ぶなど大盛況。最後は小野田地区老連女性部による踊り「東京ラブソディ」のメロディーを、みんなで口ずさみながら閉幕となりました。

大舞台での仲間の晴れ姿を一目見ようと、約400名もの会員が詰めかけ、会場内は最後まで熱気に包まれていました。



高齢者等生活支援事業(除雪サービス)のお知らせ



社会福祉協議会では、高齢者等の生活支援事業として、今年も除雪サービスを実施しております。これは、在宅の一人暮らしまたは二人暮らし高齢者世帯の方で、かつ要支援以上または身体障害者手帳保持者がいる世帯に対し、除雪を行うことで、在宅で自立した生活を継続できるよう支援するものです。利用を希望される方は、社協事務局にてご相談ください。

【対象者】 おおむね70歳以上の一人暮らしまたは二人暮らし高齢者世帯の方で、かつ要支援以上の介護認定を受けている、または身体障害者手帳保持者がいる町民税非課税世帯の方。

【事業内容】 作業は、加美町シルバー人材センターに委託して行われます。おおむね10センチ以上の積雪があった時に、利用者からの電話等による依頼に応じて、担当会員が出向いて作業を行います。

【除雪範囲】 自宅の玄関周りや敷地外への通路、石油タンクやガス周りなどの、生活上除雪が必要な場所に限られます。（屋根の雪下ろしや庭などは不可）

【利用料金】 1回あたり200円（1ヶ月分をまとめて翌月に請求いたします。）

なお、除雪に必要な経費は1回あたり1,375円となっており、うち1,175円を社会福祉協議会が負担しています。

【利用申請】 各地区の社協事務局にて申請書を受け取り、必要事項をもれなくご記入の上、町県民税が非課税であることを証明する書類（非課税証明書等）を添付してください。

（なお、ご自分で役場等に出向き、非課税証明書を取得することが困難な場合は、委任状に記入いただき、200円を添えて申し込みいただければ、社協で代行取得することもできます。）

※なお、土地の状況（広範囲で手作業ではできない等）や地区にシルバー人材センターの会員がいない等の理由で、ご希望に添えないこともありますので、ご了承ください。

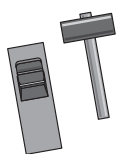
かみまちボランティアセンター通信 vol.19

加美町ボランティアセンター

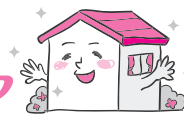
電話：0229-63-2547

FAX：0229-63-2898

mail：kamisyakyo@vega.ocn.ne.jp



プロの腕前であつという間に修復!! 中新田建築業組合小破修繕ボランティア



中新田建築業組合（佐藤宮男組合長）に所属している大工さんのご厚意による「小破修繕ボランティア」が、10月28日に行われました。これは中新田地区の高齢者世帯を対象に毎年行われているもので、今回は8件の申し込みがありました。

今年寄せられた内容は、玄関の扉の戸車交換やサッシ戸の調整、突っ張り棒の設置など。5名の大工さんによる丁寧な作業で、午前中のうちに全て完了しました。利用者からは「一人ではできないと思っていたので、本当に助かりました！」など、感謝の言葉がたくさん寄せられました。



▲今回ご協力いただきました5名の大工さん



▲スピーディかつ丁寧な作業でみるみるうちに修復完了！今年も大変ありがとうございました!!▲

歳末たすけあい募金にご協力お願いいたします

今年も12月1日から12月31日まで、歳末たすけあい募金運動が実施されます。この募金は、町内在住の一人暮らし高齢者の方を対象とした『歳末ふれあいあったか弁当配布事業』に有効活用させていただきます。

皆様のあたたかいご支援・ご協力をお願いいたします。



▲『地域からの贈り物』歳末ふれあい弁当

平成30年度『社協スタッフ』大募集!!

加美町社会福祉協議会が運営する介護事業所及び障害福祉サービス事業所のスタッフとして、一緒に働いてくれる方を募集しています。応募される方は、希望の職種等を明記した履歴書、資格者証の写し等を持参の上、加美町社協本部（加美町字町裏320番地・電話63-2547）までお申込みください。

①運転業務員

【賃 金】 時給1,150円
【勤 務 日】 月～土曜日
【勤務時間】 8:30～ 9:30
16:00～17:00
※週19時間以内勤務

②ホームヘルパー（短時間勤務）

【賃 金】 時給1,000円～920円
【勤 務 日】 応相談
【勤務時間】 応相談
【資 格】 介護福祉士、介護職員初任者研修
課程、ヘルパー1級・2級

③ケアマネジャー（介護支援専門員）

【賃 金】 月給220,000円～186,700円
【勤 務 日】 月～金曜日、週5日勤務
【勤務時間】 8:30～17:15
【資 格】 介護支援専門員

④調理員

【賃 金】 時給880円～850円
【勤 務 日】 月～土曜日
【勤務時間】 応相談
※週19時間以内勤務

- 1 共通条件：満65歳未満、要普通運転免許
- 2 福利厚生：週勤務時間により雇用保険・社会保険に加入。その他本会規定による。

生活相談所開設

日常生活で心配ごと、困りごとはありませんか？お気軽にご相談ください。

★時間：午前10時～午後3時

★場所：中新田福祉センター分室2階 相談室

開設日	相 談 員
12月21日	佐藤千鶴子 澤口 信
1月18日	早坂 彰彦 三浦 久子
2月15日	村山 亮子 工藤わか子

※完全予約制です。希望される方は相談日の3日前までに電話または来所の上、お申込み下さい。

温かい善意 ありがとうございます

【寄付金】

（平成29年9月9日～平成29年11月15日）

- ★(故)佐々木 民義 様 (岡町) 100,000円
- ★イセ食品株式会社 様
イセファーム東北株式会社 様
(7/29イセたまご祭り収益金) 100,000円
- ★中新田小学校昭和20年度卒業
代表 伊藤 祐造 様 20,000円
- ★姉さん広場 様 3,000円
- ★早坂 雄幸 様 (東町) 100,000円
- ★加美町小野田ボランティア友の会
会長 佐々木 盛雄 様 (10/29おのだ
文化祭チャリティバザー収益金) 80,000円
⇒小野田西部デイサービスセンターへ指定寄付
- ★加美よつば農業協同組合 様
(11/12 お人形感謝祭寄付金) 20,453円
(10/29・11/5 JA秋まつりチャリティ販売収益金) 173,114円



◀加美よつば農業協同組合様

【物品寄付】

- ★工藤商店 様 (中町) タオル
⇒宮崎デイサービスセンターへ

宮城いきいき学園 平成30年度入学生募集

◎対 象 県内に居住する概ね60歳以上の方で、2年間継続して受講可能な方。（卒業された方の再入学は不可）

◎場 所 ①大崎校 ②仙南校 ③石巻校
④気仙沼・本吉校 ⑤登米・栗原校

◎募集人員 各校40人（先着順に決定）

◎学習期間 月1～2回（1回4時間）

年間22回程度：2学年制

◎募集締切 平成30年2月28日(水)必着

◎入学金5,000円、受講料20,000円

※申込を希望される方は、各地区社協事務局にて募集案内を受け取り、必要事項を記入の上、宮城県社会福祉協議会（〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-2-3 宮城県自治会館）までお申込み下さい。